

人輝く。

秋の叙勲 おめでとうございます

旭日双光章
いまむら よしてる
今村 義照 (75) さん
元 安芸高田市議会議員

平成5年4月に甲田町議会議員選挙で初当選されて以降、甲田町議会議員を3期、また合併による在任特例で平成16年3月に安芸高田市議会議員となられて以降、平成24年11月まで安芸高田市議会議員を3期務められ、通算19年7か月の永きにわたり在職し、甲田町、安芸高田市の発展に尽くされました。在職中は、平成13年4月から平成16年2月までの間、甲田町議会議長を務められました。また、交通安全活動を35年前から現在に至るまでされてきています。

瑞宝双光章
あかがわ きぶろう
赤川 三郎 (70) さん
元 吉田町消防団 団長

昭和41年に吉田町消防団に入団。昭和54年に吉田町消防団 副分団長、昭和56年に吉田町消防団 分団長、平成2年に吉田町消防団 副団長、平成12年に吉田町消防団 団長を務められ、38年もの永きにわたり現場の第一線において消防活動に尽力されました。

危険業務叙勲 おめでとうございます

瑞宝単光章 防衛功労
なかむら のぶお
中村 信雄 (65) さん
元 准陸尉

昭和43年3月に山口駐屯地入隊、習志野駐屯地(第1空挺団)を経て、海田市駐屯地で平成14年11月に定年退官を迎えられました。その間、昭和60年に起きた日航機墜落事故の救助活動など、数多くの災害現場で救助・救難活動を行われました。34年10か月の永きにわたり、国民の命と生活を守るために尽力されました。

総務大臣表彰を受賞されました

なかた しんそう
中田 俊三 さん
行政相談委員

中田行政相談委員は、毎月2回吉田人権会館において定例行政相談所を開設するなど、地域の身近な相談相手として活動を続けられています。このたび、委員活動に顕著な功績があったとして、総務大臣より総務大臣表彰を受賞されました。

感謝状が贈られました

(公社) 全国スポーツ推進委員連合
賛助会員感謝状
こうの まさよし
河野 正義 さん

これまで甲田町体育指導員時代から長年にわたりスポーツ少年団活動に尽くすとともに、地域で生涯スポーツの振興に貢献した功績をたたえられ、公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合より感謝状が贈られました。

全国大会で優秀な成績をおさめられました

第14回全国障害者スポーツ大会
「長崎がんばらんば大会」
卓球競技 知的障害 青年男子の部
ブロック優勝
丹後 亮 さん
(社会福祉法人 清風会)

全国大会出場 おめでとうございます

第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」
レスリング 成年男子の部 末本 隼哉 さん (神奈川大学 高宮中学校出身)
アーチェリー 成年女子の部 松本 彩音 さん (エディオン 吉田中学校出身)

人権擁護委員に委嘱されました

平成26年10月1日委嘱 津賀山 一幸 さん (吉田町・再任)、田邊 裕子 さん (甲田町・再任)

安芸高田消防

安芸高田市消防本部・安芸高田消防署
TEL 42-0931 FAX 47-1191
ホームページ http://www.akitakata.jp/119/

「正しく使っていますか?」 暖房器具・火気器具 のチェック

暖房器具を既にお使いのことと
思いますが、近年、暖房器具や火
気器具の誤った使用による火災や
爆発事故などが全国的に発生して
おります。



安芸高田市内においても暖房器
具に起因する火災が例年発生して
おり、その多くは誤った使用方法
が原因です。

暖房器具や火気器具を使用する
際は、次の事項に注意しましょう。

- ・暖房器具を使用する前にほこりやゴミなどを取り除く。
- ・ストーブなどは燃料が灯油である事を確認し、前年から持ち越した不良灯油などは使用しない。



- ・ストーブなどに給油する際、灯油をこぼしたら十分にふき取る。
- ・暖房器具は必ず火を消してから給油する。
- ・暖房器具の上で洗濯物を干さない。
- ・暖房器具の近くに毛布、衣類、雑誌などの燃えやすいものや、カセットボンベ、スプレー缶など温められると爆発の危険性があるものは絶対に置かない。

- ・「カセットコンロ使用時のチェック」カセットコンロをおおうような大きな調理器具は使用しない。
- ・IHクッキングヒーターやガスコンロの上にカセットコンロを置かない。



- ・カセットコンロを2台並べて使わない。
- ・石綿やセラミック付魚焼き器や焼き網、陶板プレートなどは蓄熱性が高く、カセットボンベが過熱し爆発などの危険性があるので使用しない。
- ・「カセットボンベやスプレー缶の廃棄方法をチェック」

ガスが残った状態でカセットボンベやスプレー缶を捨ててしまうとゴミ収集車の中でガスが漏れ、火災の原因になります。



- ① ガスが残っていないか缶を振って確認しましょう。(シヤカシヤカ音がしたらまだ残っています)
 - ② 缶を振っても音がしなくなったら缶類として、資源物または燃えないごみ専用収集袋に入れて廃棄してください。(穴を空けなくてよいです)
- 事故が起きないように、適切に廃棄しましょう。

「普通救命定期講習会」のご案内

これからの時季、道路に積雪があったり、路面が凍結している場合、救急車の救急現場到着が遅くなるのが予想されます。

心臓と呼吸が止まってから時間の経過とともに救命の可能性は急激に低下してしまいます。そうならないためにも、そばに居合わせたまなさん一人ひとりが救命処置を行うことが、ますます重要になってきます。

現場に居合わせた市民から救急隊、そして医師へ命のバトンを引き継ぐ「救命のリレー」を途切れさせないために、救命の第一走者として「救命のリレー」をスタートさせてください。

消防署では普通救命定期講習会を毎月第3日曜日に開催しています。

市民の皆さんの知識を深め、ひとりでも多くの命を救うための心臓蘇生法をこの機会に身に付けてみませんか。

受講者が少数の場合も開催致しますので受講をご希望の方は、安芸高田消防署警防課救急係までお問い合わせください。